

## 第5学年2組

## 外国語活動学習指導案

授業日 平成27年5月26日(火) 2校時

授業者 附属新潟小学校 教諭 茂木 智弘

会場 5年2組教室

### 1 単元名 Hi, friends! Lesson1 「Hello!」 Lesson2 「I'm happy.」

～マイプロフィールノートをつくろう!～

### 2 本単元の価値

本単元は、主に学習指導要領「外国語活動」の以下の指導内容に基づくものである。

#### 2 内容

1 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、次の事項について指導する。

(2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。

(3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

本単元は、学校で子どもが初めて外国語を学習する時間である。子どもにとって外国語で話すことや外国人とコミュニケーションを図ることは、決して簡単なことではない。そのため、不安を抱く子どもも多いと考えられる。(以下、本研究で学習する主な言語は英語であるため「外国語＝英語」で表記する)

そこで、まず人とのコミュニケーションを図る上で、必ずやりとりするあいさつを取り上げ、簡単な英語でも互いの様子が分かることを実感させる。そうすることで、子どもは英語に親しみをもち、「自分も英語が話せるようになりたい。外国人の言っていることが分かるようになりたい。」といった、これから始まる外国語活動に期待を抱くようになる。

次に、互いのことを知り合うためのコミュニケーション活動を設定する。子どもにとって言語を獲得する最も身近な理由は、単純に互いのこと伝え合うことである。自分のことを伝えたい、相手のことを知りたいといった直接的なやりとりは、子どもの意欲を刺激する。本単元では、マイプロフィールをつくるという課題を基に、相手の分からない情報がある場面や状況を意図的につくり、慣れ親しんだ英語を使いながら、知り合っていく活動を展開する。そうすることで、子どもは積極的に英語を聞いたり、話したりするようになる。

また、本単元ではコミュニケーションの相手として、友達やHRTの他にALTと交流校である中国の先生方も設定する。何故なら、初歩的な英語でも外国人とコミュニケーションを図れることを子どもが実感できるからだ。子どもは、友達やHRTとの英語でのコミュニケーションを経て、外国人とコミュニケーションを図る。そして、相手のことが分かる体験を踏む。このような体験を外国語活動の入門期にすることで、子どもは英語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを感じていくようになる。

### 3 本単元で目指す姿と「中核的な学習内容」「学びをつなぐ力」

#### (1) 目指す姿

友達やHRT、ALT、中国人に応じて、知りたいことを聞くための英語を使うと、プロフィールの内容が記入できることを自覚できる子ども

「プロフィールをつくるためには、プロフィールの内容を聞く英語を知り、そこから自分の知りたいことが聞ける英語を選んで、話していくことが大切だと思った。」

※ 本単元の場面や状況＝プロフィールする相手。

#### (2) 「中核的な学習内容」

相手に応じて、課題解決に必要な英語が使えるという技能

#### (3) 「学びをつなぐ力」

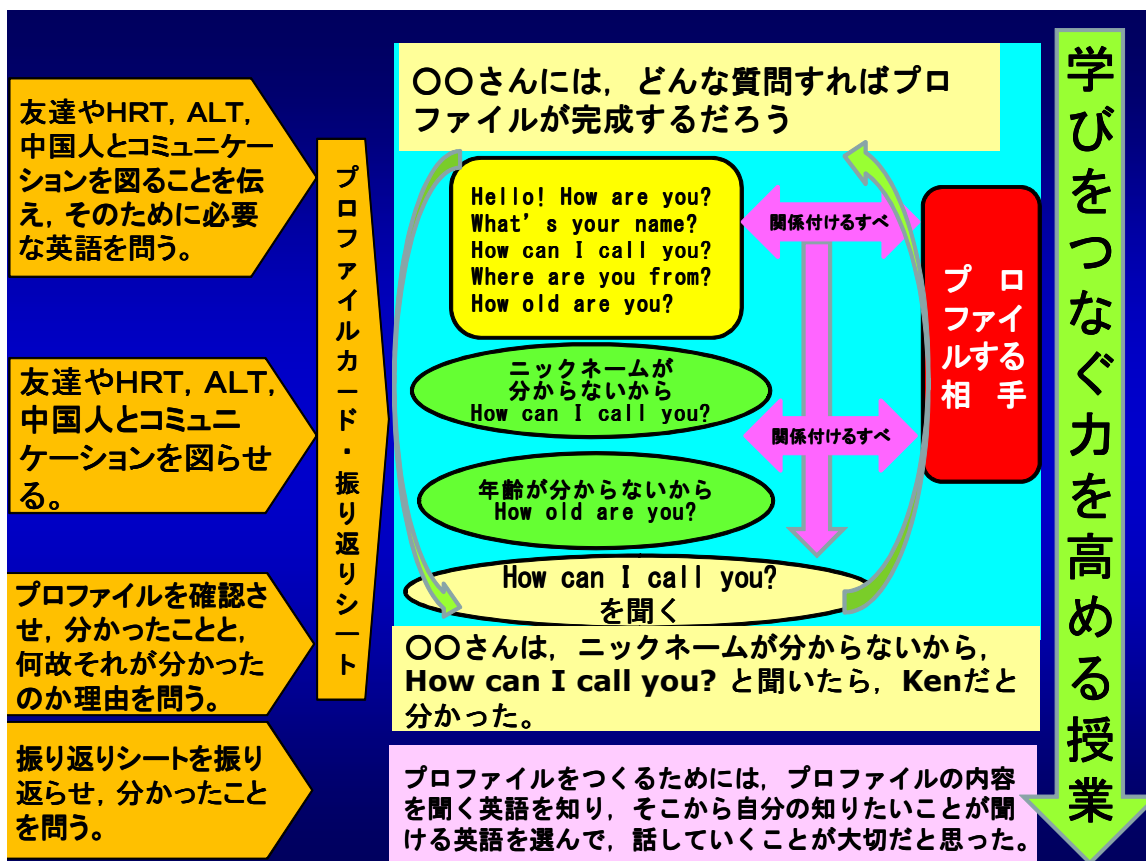
① 関係付けるすべを用いて、相手に応じた質問に使う英語を見いだす力

② 関係付けるすべを用いて、見いだした英語を使ってコミュニケーションをしてみることで、その英語で課題解決できるかどうかを判断する力

### 4 指導計画 全6時間(180)

単元カード参照

## 5 指導の構想



本単元では、出会いの場面でよく使う英語を使って、相手のことを知る活動に取り組む。教師はまず、英語で様々な人のことを聞いて、プロフィールカードをつくり、それをまとめてマイプロフィールノートをつくらうと呼びかける。これが、単元を貫く課題の提示である。すると子どもは、自分の知らない相手のことを聞くための英語を知ろうとする。教師は、子どもが知りたい英語を教え、繰り返し慣れ親しませる。この時子どもは、聞くための英語は知っているが、実際のコミュニケーション活動で使えるかは分からない状態である（C0）。このような子どもに次の働き掛けをする。

※プロフィールカード＝名前、出身、ニックネーム、年齢などの内容を書き込むカード

マイプロフィールノート＝みんな（友達、HRT、ALT、中国人など）のプロフィールカードを集めてファイリングしたもの

### 働き掛け1

友達やHRT, ALTとコミュニケーションを図ることを伝え、そのために必要な英語を問う。

子どもにマイプロフィールノートづくりに必要なコミュニケーション場面を具体的に描かせ、会話に必要な英語を考えさせる働き掛けである。

子どもは相手のプロフィール（プロフィールカード）をつくるために必要と思われる英語を知り、慣れ親しんでいる。しかし、実際のコミュニケーション場面では、必ず全て使う必要はないし、もともと知っている英語を使うこともある。つまり、相手に応じて聞きたいことを聞くための英語が必要となる。そこで、まず教師は、プロフィールする相手（「対象」）を示し、子どもに具体的なコミュニケーション場面を描かせる。すると子どもは、聞きたいことや聞くための英語を想起する。次に、プロフィールする相手ごとに聞きたい内容を問う。そうすることで、子どもは関係付けるすべを用いて、自分の知っている聞きたいことを聞く英語とプロフィールする相手とを結び付け、どのような英語が必要か考えるようになる。このような子どもに次の働き掛けをする。

### 働き掛け2

友達やHRT, ALT, 中国人それぞれの知りたいことを聞く英語を考えさせながら、コミュニケーションを図らせる。

子どもが、相手に応じて知りたいことを聞くための英語を選択しながら、実際にコミュニケーション

ョンを図るための働き掛けである。

子どもは、聞く相手に応じてどんなことを聞こうか考え、そのために必要な英語を想像している。このような子どもに、友達やHRT, ALT, 中国人など（プロフィールする相手）と複数回コミュニケーションを図らせる。すると子どもは**関係付けるすべ**を用いて、プロフィールする相手に応じて、聞きたいことを聞くために必要な英語を使うようになる。そこで、プロフィールする相手の分かったことをプロフィールカードに記入させる。すると、課題であったプロフィールづくりが徐々に出来上がっていく。このような子どもに次の働き掛けをする。

### 働き掛け3

**プロフィールを確認させ、分かったことと、何故それが分かったのか理由を問う。**

子どもがプロフィールづくりに必要な英語を使えるようになるための働き掛けである。

子どもは、実際のコミュニケーション活動を通して、複数枚のプロフィールに分かったことを記入している。このような子どもに、プロフィールを確認させ、分かったことと、何故それが分かったのか理由を問い、ワークシートに記入をさせる。すると、子どもは、**関係付けるすべ**を用いて、相手に応じて知りたいことを聞く英語を使って、尋ねたことが分かるようになる。

※本単元では、働き掛け1・2・3を2回繰り返す。1回目は、**相手が友達やHRT, ALT (「対象」)**、2回目は、**友達やHRT, ALT, 中国人の中でまだ、プロフィールが完成していない相手 (「対象」)**

### 働き掛け4

**振り返りシートを振り返らせ、分かったことを問う。**

子どもに学びをつなぐ力を自覚させるための働き掛けである。

子どもは、様々な友達やHRT, ALT, 中国人に応じて英語を使い、プロフィールづくりをしている。このような子どもに働き掛け3で書いたワークシートを確認させ、何故プロフィールができてきているのかを問う。そうすることで、子どもは**関係付けるすべ**を用いて、ワークシートの内容からプロフィールする相手に応じて、知りたいことを聞くための英語を使って、コミュニケーションを図ることが大切であることを自覚する。

## 6 本時の構想 (本時 5/6時間)

### (1) ねらい

関係付けるすべを用いて、自分の知っている英語とプロフィールする相手とを結び付け、相手の知らないことを知るために、必要な英語を選択しながら、使うことができる。

「友達は、ニックネームが分からないから、How can I call you?と聞いたら、MayやKenということが分かった。先生は、年齢が分からないから、How old are you?出身もちょっと不安だからWhere are you from?も聞いたら、39歳で群馬出身ということが分かった。スティーブ先生は、たくさん分からないことがあったから、What's your name? Where are you from? How old are you?などたくさん聞いたら、本当はステファン・ドルカで、カナダ出身の55歳ということが分かった。」

### (2) 主張 (展開) 3Q (45分)

このような子どもに (C0)

- あいさつの英語に慣れ親しみ、場面や状況に応じて使える。  
使える英語: Hello! How are you? Nice to meet you. など。
- 色々な人のプロフィールを集めて、マイプロフィールノートをつくらうとしている。
- 相手のプロフィールを知るための英語を知っているが、使えるかどうか分からないでいる。  
知っている英語: What's your name? How can I call you? How old are you?  
Where are you from? など
- プロフィールカードの使い方を知っている。

このように働き掛けると【働き掛け1-①】

**友達やHRT, ALTとコミュニケーションを図ることを伝え、そのために必要な英語を問う**

指示1 「Hello, everyone! How are you? …」

※初めにあいさつの会話を交わす。

説明1 「今日は、色々な人と英語でお話をする時間です。たくさんの人のプロフィールを聞き、マイプロフィールノートを完成に近づけましょう。今日お話するのは、クラスの友達と、先生 (茂木), スティーブ先生です。」

- 発問1 「みなさん、英語でお話をして、たくさんの人のプロフィールを聞くためには、どんな英語が必要ですか」
- ※補助1 あいさつに関係する英語が出なかった場合は、「いきなり質問するのですか」と問う。
- 発問2 「英語を会話する時間は、全部で15分間です。全員に聞けそうですか」
- 発問3 「どうすればよいですか」
- ※補助2 「限られた時間の中で聞くためには、どんな工夫が必要か考えてみよう」

### このようになり (C1-①)

- 自分が知っている英語を想起して、どの相手でも対応できる英語を考える。
- ・ えっと、まずやっぱりあいさつは必要じゃないかな。Hello! How are you? とか、Nice to meet you. なんかもね。
  - ・ ああ、それから名前。What's your name?
  - ・ プロフィールを聞くんだったら、この間教えてもらったHow can I call you?とかWhere are you from? How old are you?なんかも必要だよな。
- 限られた時間の中でコミュニケーションをすることを考える。
- ・ う～ん。微妙かな。全員となる結構時間かかると思うな。
  - ・ 特に茂木先生やステーブ先生は、時間がかかるとも思えない。
- **関係付けるすべ**を用いて、自分の知っている英語とプロフィールする相手とを結び付け、どのような英語が必要か考える。
- ・ 全部を聞かなくてもいいかも。
  - ・ そうそう、友達なんてもう名前とか分かりきっているし、年齢もほとんど同じか1歳違って分かる。出身もみんな新潟だよな。
  - ・ え?でも、〇〇さんとかは違うと思うな。
  - ・ ステーブ先生の年齢は、謎だね。そうすると、How old are you?は聞かないとね。
  - ・ そうか、あいさつは必ず必要だけど、それ以外は自分が聞きたいことだけを聞けばいいんじゃない。
- ※つなぐ力①： .....のように課題解決に必要な英語を見いだした時、次の働き掛けをする。

### このように働き掛けると【働き掛け2-①】

**友達やHRT, ALTそれぞれの知りたいことを聞く英語を考えさせながら、コミュニケーションを図らせる。**

- 指示1 「それではみなさん、実際に英語でたくさんの人とお話をしてみましょう。ただし、プロフィールカードは持ち歩かずに、会話が終わったらイスに戻って記入してから、次の相手とお話しましょう」
- ※HRTは、子どもとコミュニケーションを図りつつ、1人になっている子や会話が上手くできない子の支援をする。

### このようになり (C2-①)

- **関係付けるすべ**を用いて、プロフィールする相手に応じて、知りたいことを聞くために必要な英語を使う。
- 1) To a friend (a student=C)
- |  |                                   |
|--|-----------------------------------|
| C1:Hi! How are you?                    | C2:Hi! How are you?               |
| C1:I'm happy thank you, and you?       | C2:I'm great! How can I call you? |
| C1:Well...please call me Ken, and you? | C2:Ah...Gonzales.                 |
| C1:Oh, OK! Gonzales. Thank you.        | C2:Bye, Ken!                      |
- 1) To Mr. Stave (Stave=A)
- |   |   |
|---|---|
| C:Hello!  | A:Hello! How are you?                             |
| C:I'm good thank you. and you?                    | A:I'm fine thank you.                             |
| C:What's your name?                               | A:My name is Stephan Dolkka.<br>What's your name? |
| C:My name is Kenta Kogure.<br>How can I call you? | A>Please call me Steve. How can I call you?       |
| C>Please call me Ken.                             | A:OK, Ken. Where are you from?                    |
| C:I'm from Niigata. <u>How old are you?</u>       | A:I'm 55 years old.                               |
| C:Ok. Thank you very much.                        | A:You are welcome.                                |
- ※ つなぐ力2 : .....のようにコミュニケーションを図ったら次の働き掛けをする。

このように働きかけると【働き掛け3-①】

プロフィールを確認させ、分かったことと、何故それが分かったのか理由を問う。

- 指示1 「今日、たくさんの人と英語でお話をしましたね。プロフィールを振り返って、今日の授業で分かったことを記入しましょう」
- ※振り返りのワークシートを配付し、記入させる。

このようになり (C3-①)

- **関係付けるすべ**を用いて、相手に応じて知りたいことを聞く英語を使って、尋ねたことが分かるようになる。
  - ・友達 は、ニックネームが分からないから、How can I call you?と聞いたら、MayやKenということが分かった。
  - ・先生 は、年齢が分からないから、How old are you? 出身もちょっと不安だからWhere are you from?も聞いたら、39歳で群馬出身ということが分かった。
  - ・ステイブ先生は、たくさん分からないことがあったから、What's your name? Where are you from? How old are you?などたくさん聞いたら、本当はステファン・ドルカで、カナダ出身の55歳ということが分かった。

本時は、ここまで

このように働きかけると【働き掛け1-②】

中国人とコミュニケーションを図ることを伝え、そのために必要な英語を問う

指示1 「Hello, everyone! How are you? …」

※初めにあいさつの会話を交わす。

説明1 「今日は、友達と中国の方と英語でお話をする時間です。たくさんの方のプロフィールを聞き、マイプロフィールノートを完成に近づけましょう。今日お話しするのは、クラスの友達と、北京から来た先生方です。」

- 発問1 「みなさん、英語でお話をして、プロフィールを聞くためには、どんな英語が必要ですか」
- 発問2 「英語を会話する時間は、全部で10分間です。準備をしましょう」

このようになり (C1-②)

- 自分が知っている英語を想起して、どの相手でも対応できる英語を考える。
    - ・えっと、まずやっぱりあいさつは必要じゃないかな。Hello! How are you? とか、Nice to meet you. なんかもね。
    - ・いや、中国はニーハオって言うてみたらよくないかな。
  - **関係付けるすべ**を用いて、自分の知っている英語とプロフィールする相手とを結び付け、どのような英語が必要か考える。
    - ・プロフィールを聞くんだったら、中国の方ってニックネームってあるのかな。How can I call you?で聞いてみよう。
- ※つなぐ力①： .....ように課題解決に必要な英語を見いだした時、次の働き掛けをする。

このように働きかけると【働き掛け2-②】

友達や中国人それぞれの知りたいことを聞く英語を考えさせながら、コミュニケーションを図らせる。

○指示1 「それではみなさん、実際に英語でたくさんの方とお話をしてみましょう。ただし、プロフィールカードは持ち歩かずに、会話が終わったらイスに戻って記入してから、次の相手とお話しましょう」

※HRTは、子どもとコミュニケーションを図りつつ、1人になっている子や会話が上手くできない子の支援をする。

このようになり (C2-②)

- **関係付けるすべ**を用いて、プロフィールする相手に応じて、知りたいことを聞くために必要な英語を使う。
  - To a friend (a student=C)
 

C1: Hello! How are you?	C2: Hello! How are you?
C1: I'm happy thank you, and you?	C2: I'm great! How can I call you?
C1: Well..., please call me Tom, and you?	C2: Ah..., Mary.
C1: Mary. Thank you.	C2: Bye, Tom!
  - To Chinese (Chinese=G)

C:Hello!  
C:I'm good thank you, and you?  
C:What's your name?

G:Hello! How are you?  
G:I'm fine thank you.  
G:My name is Ma Lee.  
What's your name?

C:My name is Kenta Kogure.

How can I call you?

G>Please call me Mao. How can I call you?

C:please call me Ken. Where are you from?

G:I'm from Beijing.

C:Ok. Thank you very much.

G:You are welcome.

※ つなぐ力 2 :                      のように見いだした英語を使って、コミュニケーションを図ったら次の働き掛けをする。

### このように働き掛けると【働き掛け3-②】

**プロフィールを確認させ、分かったことと、何故それが分かったのか理由を問う。**

○指示1「今日、たくさんの人と英語でお話をしましたね。プロフィールを振り返って、今日の授業で分かったことを記入しましょう」

※振り返りのワークシートを配付し、記入させる。

### このようになり (C3-②)

○ **関係付けるすべ**を用いて、相手に応じて知りたいことを聞く英語を使って、尋ねたことが分かるようになる。

・ 友達は、ニックネームが分からないから、How can I call you?と聞いたら、Tomということが分かった。

・ 中国の方は、全然分からないから知っている英語で色々聞いた。What's your name? How can I call you? Where are you from?でも、How old are you?は、ちょっと迷ったかな。聞いていいの。でも、馬さんで、北京出身、ニックネームはそのままMaが分かった。

### このように働き掛けると【「学びをつなぐ力」を自覚させるための働き掛け】

**ワークシートを振り返らせ、分かったことを問う。**

○指示1「これまでの学習を振り返るとたくさんの人と英語を使ってきましたね。振り返りワークシートには、その成果がたくさん表れています。最後にその振り返りワークシートを見て、プロフィールを書く上で大切なことを書きましょう」

※感想シートを配付する。

### このようになり (Cn)

○ **関係付けるすべ**を用いて、振り返りワークシートの内容からプロフィールする相手に応じて、知りたいことを知るための英語を使って、コミュニケーションを図ることが大切であることを自覚する。

・プロフィールをつくるためには、プロフィールの内容を聞く英語を知り、そこから自分の知りたいことが聞ける英語を選んで、話していくことが大切だと思った。

※「学びをつなぐ力」を自覚させるための働き掛けを受けて、想定した「学びをつなぐ力」①②を自覚しているかどうかを、感想シートの記述から検証する。

## 7 検証

### (1) 検証すること

- ① 構想した働き掛けにより、「中核的な学習内容」を創り出すことができたか。
- ② 構想した働き掛けにより、「学びをつなぐ力」を発揮することができたか。
- ③ 構想した働き掛けにより、「学びをつなぐ力」を自覚することができたか。

### (2) 検証の方法

- ① 働き掛け2・3を受けて、関係付けるすべを用いて、                    のような相手に応じた                     のような英語を使って、                    のように課題解決できたかどうかプロフィールカードで検証する。
- ② 働き掛け1及び2を受けて、関係付けるすべを用いて、                    のように課題解決に必要な英語を見だし、                    のようなコミュニケーションを図ることで、その英語で課題解決できるかどうかを判断することができたかワークシートの記述及び実際のコミュニケーションの様子から検証する。
- ③ 「学びをつなぐ力」を自覚させるための働き掛けを受けて、                    のように想定した「学びをつなぐ力」①②を自覚しているかどうかを、感想シートの記述から検証する。

